



図書館紹介

第3回 亀戸図書館・東陽図書館

亀戸図書館



亀戸図書館は昭和57年に開館しました。区内では4番目にできた図書館で、1階が書架、2階が閲覧席、3階に児童館を持つ複合施設です。2階には庭園もあります。

おはなし会は図書館だけでなく、3階の児童館でも行われており、多くの子ども達が参加してくれています。また、毎週木曜と第三土曜には、絵本などの朗読をしてくれる「よむよむさん」の読み聞かせタイムがあります。



2階の庭園



よむよむさんの読み聞かせ



所在地:江東区亀戸7-39-9 TEL:03-3636-6061 FAX:03-3636-6010
最寄り駅:JR総武線 亀戸駅(徒歩約15分) 最寄りバス停:亀戸9丁目(徒歩約1分)

東陽図書館



東陽図書館は、昭和60年に開館しました。

東陽町駅に近く、周辺オフィスに勤めている方の利用が多く、閲覧室とは別に持ち込んだパソコンが使用できるビジネスルーム(24席)があります。また、多数のビジネス書を所蔵しています。

おはなし会は、日曜、水曜、金曜(第三週を除く)と数多く開催しています。

令和元年10月より利用者自身で資料を受け取る予約資料コーナーを設置しました。



ビジネスルームは、Wi-Fiが利用できます



ビジネスに関連した本の展示を行っています



予約資料コーナー

各図書館のイベント詳細は
図書館ホームページにてお知らせいたします。



◀江東区立図書館HP



指定管理者の導入と開館日・開館時間の拡大について

(東陽・東雲・城東・東大島図書館)

令和2年4月より、東陽・東雲・城東・東大島図書館は指定管理者(株式会社図書館流通センター)が運営を行い、月曜日の開館及び日曜日・祝休日・12月28日の開館時間を午後5時から7時まで2時間延長いたします。加えて、東陽・城東図書館については、月曜日から土曜日の開館時間を午後8時から9時まで1時間延長いたします。今後も、図書館サービスの向上に努めてまいりますので、皆様ぜひご来館ください。



江東区立図書館情報誌



発行:江東図書館

http://www.koto-lib.tokyo.jp/ 電話 03-3640-3151 FAX 03-3615-6668

【2020冬】Vol.13

2020年はねずみ年

2020年は子(ねずみ)年。十二支のトップバッターを飾るねずみは、昔から日本人になじみの深い動物で、「枕草子」や「徒然草」にも登場します。ペットとして可愛がられるねずみもいれば、作物を荒らしたり、電線をかじる厄介者として嫌われるねずみもいます。今回は、そんなねずみ達が主役の本をご紹介します。

カヤネズミの本

～カヤネズミ博士のフィールドワーク報告～

島佐代子/著 世界思想社
ISBN 978-4-7907-1613-6

「カヤ」と総称されるススキやヨシなど、水辺に生える背の高い草むらに巣を作って暮らすカヤネズミ。かつて人々の暮らしに必須であったカヤとともに生きる彼らは、人の生活の変化により、草むらとともに姿を消そうとしています。親指ほどのちいさい命が、人と自然との関わり方を考えさせてくれる本です。



川の光

松浦寿輝/著 中央公論新社
ISBN 978-4-12-003850-1

クマネズミは、民家の天井裏から野外まで広く生息する。日本ではよく見られるねずみです。この小説は、工事により川岸の住みかを追われたクマネズミの一家が、新しい家を探して旅をする物語です。人間にとっては電車や車ですぐに移動できる距離でも、ねずみにとっては途方もなく遠い旅路。あなたも、ねずみの世界に入り込んで一緒に冒険してみませんか?中学生から大人までわくわく読めて、家族や友達との絆に心温まる物語です。外伝、2巻も出版されています。



冒険者たち

～ガンバと十五ひきの仲間～

斎藤孝夫/作 荻内正幸/画 岩波書店
ISBN 4-00-110527-6

町ネズミのガンバは、ひょんなことから船乗りネズミたちと一緒にイタチのノロイ族に滅ぼされそうなる島ネズミを救うため、南の島に旅立ちます。食いしん坊のマンプク、賢いガクシャ、何でもサイコロで決めるイカサマ…。くせものぞろいの仲間たちと力を合わせ、賢くそして恐ろしいノロイ族に勝つことができるのか。これぞネズミ文学(?)の金字塔。町で見かけるネズミたちが、何だかみんな「冒険者」に見えてきます。



ねずみくんとゆきだるま

なかえよしを/作 上野紀子/絵 ポプラ社
ISBN 978-4-591-06974-5

雪が降ったら、みんなは何をして遊ぶ?
雪がっせん?スキー?
ねずみくんも雪がふって大よろこび!
どんな雪だるまができるかな?



学校連携

図書館では学校と連携して様々な事業を行っています。今回はその一部についてご紹介します。

職場体験・インターンシップ

中学校や高校からの依頼を受け、各図書館で生徒を受け入れています。

フロアー業務の他に、本の発注、汚れた本のクリーニングなどの裏方的な仕事、おはなし会での読み聞かせなど、盛り沢山の仕事を体験します。緊張しながらも、みんな一生懸命取り組んでいます。

また、夏休みに高校生ボランティアの受け入れも行っています。



本の発注作業中



返却された本を確認中

学校訪問

図書館員が小学校を訪問し、1年生を対象に図書館の紹介をしたり、利用の仕方などについてPRをしています。

読み聞かせボランティアによるおはなし会の実施もあります。



図書館見学

主に小学2年生が、授業の一環として、各学校の近くの図書館に來館します。事務室で仕事をする様子や、貴重な資料が保存されている閉架書庫など普段は入れない場所も見学します。



こんなに古い本もあるよ



昔の地図で学校の位置を確認!

高校生のPOP展示(深川図書館)

深川図書館では夏季期間、都立大江戸高校の「図書委員おすすめ本」を紹介した生徒の手作りPOPを展示しました。会場となったYAコーナーには、さっそくその本を読みたくなるような素敵な作品が並びました。



読書週間に

イベントや展示を実施しました!

昨年10月27日~11月9日の読書週間に、区立図書館各館で様々なイベントや展示を実施しました。



ブックコーティング体験

古石場図書館

深川第三中学校の図書委員の生徒2名が、本を透明なフィルムでコーティングする作業を体験しました。難しい作業でしたが、真剣に取り組み、自分のお気に入りの本を図書館の本のようにコーティングすることができました。



読書週間ポスター展

江東図書館

読書週間が始まった1947年から、第73回となる2019年までのほぼ全てのポスターを展示しました。また、江東図書館が都立図書館だった時代に発行された、こどもむけ新聞「うさぎタイムズ」もあわせて展示しました。



点字しおりの配布

全国図書館

点字を印刷した紙を再利用したしおりの配布を行いました。



工作会

「みんなで紙工作を作ろう」

豊洲図書館

豊洲シビックセンター主催の豊洲フェスタにて、工作会を行いました。ハロウィンのカボチャやグリーティングカードを作ったり、「ハロウィンの本」の展示や紙芝居の読み聞かせをしたり、楽しい工作会になりました。



秋の工作会&おはなし会

「おりがみであおむしをつくらう」 深川図書館

幼児~小学生を対象に、折り紙であおむしを作りました。工作会とあわせて行ったおはなし会では大型絵本の読み聞かせやハンドベルの演奏などを、みんなで楽しみました。



オリンピック・パラリンピックについて調べてみよう!

オンラインデータベースとは、図書館が契約し、図書館内のパソコンで閲覧することができるデータベースです。調べものをする際、正確な情報を効率よく入手することができます。

ヨミダス歴史館

読売新聞及びThe Japan Newsの記事が検索・閲覧できるデータベース。オリンピック・パラリンピックに関する新聞記事やコラム等を閲覧することができます。

Mpac(エムパック)

市場調査データや消費者アンケートの結果が検索・閲覧できるデータベース。「東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する調査」など、アンケート調査の結果を閲覧することができます。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国会図書館の貴重なデジタル化資料を利用できるサービスです。19世紀に出版された、オリンピックについて書かれた本も閲覧できます。

※江東・深川・東陽・豊洲・城東図書館のみ

★区立図書館で利用できるオンラインデータベースの一覧は図書館ホームページをご参照ください。利用の際は、お近くの図書館のカウンターでお申し込みください。(枝川図書館サービスコーナーを除く)